

議会だより

第100号

平成30年1月29日発行



12月定例議会

- 議案・補正予算 …………… 2P
- 常任委員会活動 …………… 4P
- 12人の議員が「町政」を問う …………… 5P

12月定例議会

12月5日から13日まで開催されました

町長提出議案は、平成29年度松伏町一般会計補正予算、特別会計補正予算、「指定管理者の指定について」など11件が提出され、いずれも可決された。議員側からは、「介護職員の労働条件改善のための介護報酬の引き上げを求める意見書」1件、また、債務負担行為補正の一部、町立保育所保育士等派遣業務委託料の削除を求める修正動議が3名の議員から提出され、賛成少数で否決された。

平成29年度松伏町一般会計補正予算

主な事業内容	・ 重度心身障害者医療支給費	459万円
	・ 都市計画道路整備工事費	204万円
	・ 要保護・準要保護生徒援助費補助金	135万円

平成29年度松伏町介護保険特別会計補正予算

総額 875万円の増額

主な事業内容	・ 介護予防・生活支援サービス負担金	700万円
	・ 介護保険システム改修委託料	168万円

指定管理者の指定について(松伏町立かるがもセンター)

問 指定管理の選定までの経緯、指定管理料の積算の根拠、送迎サービスの充実について問う。

答 障がい者の状況や通所者の行動特性について適切な対応が必要であることから、開所以来、利用者との信頼関係が築かれている社会福祉法人松伏町社会福祉協議会を選定した。積算の根拠は指定管理期間3年間で人件費、事業費及び事務費の合計となる。今後の送迎サービス等は充実を図るべく検討していく。

問 「松伏町の公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」第2条では公募になっているが、検討したか。

答 条例では原則公募となっているが、公募によらずとも選定できるとの条項もある。公募しなかったことにより指定管理料は精算方式で対応する。

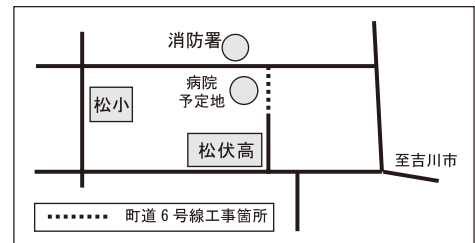


松伏町立かるがもセンター

臨時会を開催(10月30日)

提案された議案は、次のとおり、全会一致で可決されました。

- ・専決処分の承認を求めることについて
衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行に伴う一般会計予算の補正をするもの。
- ・松伏町地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
越谷都市計画地区計画の変更に伴い、大川戸砂田地区整備計画の区域内における建築物に関する制限を定めるもの。
- ・赤岩地区公民館改修工事請負契約の締結について
正和工業(株)と請負金額8,639万1,360円で工事請負契約を締結するもの。
- ・町道6号線(深町工区)道路築造工事(その1)請負契約の変更契約の締結について
ガス管理設のため清水建設(株)と履行期限を平成30年3月30日に変更するための変更契約を締結するもの。



主な質疑

- 問 投票率の向上や開票の時間短縮について、今回どのように対応しているのか。
- 答 大切な1票を無駄にしないため、啓発活動、期日前投票を呼びかける。また、新成人への選挙啓発パンフレットの配布、ホームページやメール、ツイッター、広報車で呼びかけする。
開票については、分類機の導入や計数機の導入を增強し、早く開票が終了できるよう努める。
- 問 大川戸砂田地区地区整備計画区域では、既に造成工事が始まっている。問題はないか。
- 答 大川戸砂田地区は、平成29年7月12日に都市計画決定した。この条例には罰則規定があり、検察庁と協議し、平成29年10月17日に協議が完了した。速やかな条例改正を図ることとした。
- 問 赤岩地区公民館改修工事請負契約に関し、落札した正和工業(株)は、町内での実績はあるのか。また、予定価格は正当な額であったか。
- 答 北部拠点の活性化事業改修工事で、農村トレーニングセンターの改修工事がある。5,000万円以上の工事なので、最低制限価格や予定価格は事後公表である。公表されている設計図書などを参考に積算し、入札している。
(工期は、平成29年10月30日から平成30年3月29日まで)
- 問 町道6号線道路築造工事請負契約の変更にに関して、ガス事業者から区域内の歩道等にガス管を埋設する工事が発注したという理由である。埋設する部分について、事前調整は行われていたのか。供用開始等に影響は及ばないか。
- 答 設計段階で占用すると予定される事業者に問い合わせしたところ、越谷・松伏水道企業団のみ、上水道の占用、埋設物を考えていると回答があった。その時点では、ガス事業者から予定がないと回答があった。供用開始に影響はない。

委員会報告 見る・聞く・動く

～総務産業常任委員会～

近隣市町におけるデマンド交通状況調査

11月15日、久喜市・白岡市・幸手市・ときがわ町におけるデマンド交通状況調査を行った。各市町の状況説明を聞き、当町での導入について話し合った。

委員からは、「町内を循環する交通体系を整備しても、生活圏域が異なっているため住民サービスの向上につながりにくい」「当町の地理的要因、需要と供給のニーズをしっかりと把握すべき」などの意見が出された。

今年度8月から開始した高齢者福祉タクシー券の動向を注視し、ドア・トゥ・ドアで自由に行き来ができ、既存公共交通とも共存できるようなシステムを検討し、住民サービスにつなげたい。



幸手市デマンド交通車両「さっちゃん号」(幸手市HPより)

～文教民主常任委員会～

幼・保・認定子ども園及び待機児童の現状と町内公共施設の調査

11月6日、町すこやか子育て課長から町内幼稚園、保育所、認定こども園の待機児童の現状などの説明を受けたあと、みどりの丘こども園、町立第一保育所へ行きこども達の様子や園内を視察。その後、町保健センター及び松伏第二中学校体育館の視察を行いました。施設の老朽化に伴って改修が望まれる箇所があり、喫緊の課題として継続して調査していく必要があると感じました。

合計特殊出生率県内1位の滑川町の実例視察（11月16日）

滑川町は平成15年度に出産祝い金の支給を開始し、平成23年度に給食費の無償化と高校終了前の生徒まで子ども医療費の無料化を拡大しました。

平成14年41位だった合計特殊出生率は平成16年度には1位となり、滑川町の子育て支援策が若い世代や他の市町村からの転入希望者に評価され、出生率の向上の大きな要因となっていることを実感しました。



視察した「みどりの丘こども園」

町政に関する

一般質問の主題

川上 力

- スズメバチ駆除の公費負担制度の創設
- 緊急時通報システムの利用拡大
- イクボス宣言で働きやすい町に
- 高齢者福祉タクシー利用料金助成事業の拡充
- 放課後児童クラブの長期休暇中受け入れ実施
- 町内の地域密着型通所介護や入所施設の町外からの利用制度創設

荘子 敏一

- 町長の公約を実現する平成30年度予算編成の方針

増田 等

- 町内交通網の充実
- 楽しいことを計画する団体への補助金の創設
- スポーツ施設の充実
- 乗用バッテリーカーの補助金制度
- 各世代が笑顔あふれるまちづくり実現のための体制と施策
- 町の文化振興のあり方

田口 義博

- 松伏町中間処理場の整備計画
- 町道の舗装整備状況 ○地域担当制の導入
- 井戸水の水質調査に問題はないか

福井 和義

- 日本一の子育て支援
- AIの活用を考えた第5次総合振興計画後期基本計画の策定を

長谷川 真也

- 道路の維持管理 ○防災 ○排水路 ○除雪体制
- ご当地ナンバープレート

一般質問の会議録全文は
町のホームページから検索できます

松岡 高志

- 全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）結果分析と学力向上対策 ○幼保小中連携の一貫教育

堀越 利雄

- 道の駅構想と今後の取り組み
- 松伏町をさらに活気あふれる町にする新しい施策は

山崎 隆一郎

- 前立腺がんの特定検診時の同時実施を
- ICタグを使い、児童の見守り強化
- QRコードを使い、徘徊対策
- みんなでプロデュース「まつぶし逸品開発事業」
- シティブロモーション戦略策定事業

平野 千穂

- 乳がん対象者を35歳からに拡充、検診結果に高濃度乳房かを通知せよ
- 保育園・認定こども園の1歳児担当保育士を、県の補助基準に合わせ増員せよ
- 小・中学校の普通教室への早期エアコン設置について、9月議会以降の取り組みを問う

吉田 俊一

- 国民健康保険の県単位化・広域化で町民へのしわ寄せがないよう準備を求める
- 高齢者の足を確保する交通政策の充実を求める
- 次期介護保険事業計画の策定作業の進捗

鈴木 勉

- 介護予防事業の拡充を
- 高齢者の見守り、定期訪問活動の体制づくりを
- 吉川松伏消防組合の常備消防の負担金割合を人口割に是正を

12人の議員が町政を問う



川上 力 (公明党)

Q スズメバチ駆除の公費負担制度創設

A 制度創設について調査研究する

問 越谷市などではスズメバチの巣を発見した場合、委託業者による駆除を公費で行っている。危険生物であるスズメバチの巣の駆除は、町民の生命を守るには欠かせない。越谷市を参考に、スズメバチの巣の駆除の公費負担制度を創設した場合の試算、並びに制度創設への町の意向はないか。

答 環境経済課長 現在、町所有地にできた蜂の巣は所管課において駆除を行っているが、私有地に関しては、駆除の相談があった場合、所有者による管理責任から自身で駆除を行って頂くため、シルバー人材センターや専門業者の紹介を行っている。今後は蜂の巣の駆除等に関してホームページの記事を充実させるとともに、公費負担制度の創設についても調査研究を進めたいと考えている。

問 住み慣れた地域で生活を続けることが望まれ、地域包括ケアシステムが推進され、地域密着型サービスが始まっている。所沢市では他の自治体の方が市内施設を利用できる規定を整備した。松伏町

も整備すべきではないか。
答 いきいき福祉課長 所沢市では、平成29年4月1日に「地域密着型サービス事業者等の指定及び指定に係る同意等についての基本方針」を定めている。当町においても、同様の基準を定め運用をしていく必要があると認識しており、30年度中に規定整備を行う予定。





莊子 としかず (新自民クラブ)

Q 来年度事業の選択基準は

A 緊急性・危険性・公平性が原則

問 平成30年度に、町長はどの公約を実施したいと考えているのか。

答 **企画財政課長** 担当課と調整しながら検討する。

問 町長から、公約を実現する指示は無かったのか。

答 **企画財政課長** 各世代が笑顔あふれるまちづくりの実現に向け指示があった。その方針で小中学校エアコンの整備に向けた検討を行っている。

問 鈴木町長が第二中体育館の改修よりエアコン設置を優先させる理由は何か。

答 **町長** 小中学校の教育環境を充実することで、学習水準の向上も目指していきたい。

問 公共施設の改修はどのように考えているのか。

答 **企画財政課長** 公共施設等総合管理計画に基づき、平成30年度にアクションプランを策定し、32年度までに個別施設計画の策定をする。これは、各施設の更新や改修費の平準化を図るものだ。

問 平成30年度に補修や改修の計画はあるのか。

答 **企画財政課長** 緊急性・危険性・公平性等の判断基準が判明していないため分からない。

問 平成30年度に保健センターのトイレ改修はできるのか。

答 **すこやか子育て課長** 残念ながら出来ない。

問 町長公約とその他の事業を選択するとき緊急性・危険性・公平性で決めるのか。

答 **企画財政課長** 町長公約を優先する。



不具合が噴出(保健センター)



増田 等 (自民クラブ)

Q 各世代が笑顔あふれる町づくり

A 若い人中心の議論の場を設ける

問 町長公約とまちづくりの考えを9月議会に続いて問う。築比地、金杉など北部地域の不便解消の為に民間出資での送迎サービスの運行について問う。

答 **企画財政課長** 各事業者の経営判断や法による届け出・規制などの解決すべき課題があり、企業等の意向を踏まえて慎重に調査・研究していく。

問 楽しい事を計画する団体への補助金創設について。

答 **企画財政課長** 来年度からの実施を視野に町の活性化に寄与する「公募制補助金制度」構築を目指す。

問 「子供が夢の持てるまちにするためのスポーツ施設の充実」について問う。

答 **教育文化振興課長** 平成30年度にソフトボール、野球のピッチング練習ができるボードを設置する。サッカーの練習ボード、3人制バスケットボールコート等を31年度以降に設置することを検討する。

問 乗用バッテリーカーの補助制度について問う。

答 **いきいき福祉課長** 死亡事故・重傷事故が多数発

生しており、また町内道路には危険箇所もあることから、慎重に調査・研究を進めていく。

問 各世代が笑顔あふれる町づくりの推進室の設置は。

答 **町長** おもしろい事業を行うために、やる気のある若い人を中心に全庁横断的な議論の場を設ける。

問 町の文化振興のあり方について問う。

答 **教育文化振興課長** 文化協会の加盟団体への助成や団体数を増やす方策を協議していく。





田口 義博 (自民クラブ)

Q 地域の要望に応じて

A 狭あい道路拡幅整備方針に基づく

問 町内には未舗装道路は何路線でその延長はどの位あるのか。また、その整備計画は出来ているのか。

答 **まちづくり整備課長** 町内には584路線約92kmの未舗装道路がある。大字地区毎では、大川戸地区で165路線、次に築比地地区90路線がある。町は狭あい道路拡幅整備方針を作成し、道路幅員4mを確保し舗装することとしている。

問 築比地地内の舗装整備について、平成30年度予算にどの程度反映できるか。

答 **まちづくり整備課長** 築比地地内に限らず町内全域において4mに拡幅する予定箇所がないため、舗装新設工事を計画できない状況。老朽化した道路、橋りょうなどの修繕を実施し、住民が安全に通行できる道路環境の維持管理に努めていく。

問 地域の意向や要望が把握しやすいとされる地域担当職員制度を導入してはどうか。

答 **総務課長** これまでと同様に、自治会連合会や自

治等の把握に努め、適切に支援すると共に、他の自治体の事例を研究する。

問 松伏町中間処理場の整備計画の進捗状況は。
答 **環境経済課長** 地質調査が完了し、報告書等の整理中である。今後得られたデータを基に、施設建設に支障ないように実施設計等を進めていく。



町内の未舗装道路



福井 和義 (無所属クラブ)

Q 日本一の子育て支援を

A 検討を始めたところである

問 多くの町民の方から「松伏町は、人口減少が進んでいるが、どのような状態なのか。」と心配して現状を聞かれる。

調べてみると、平成26年は247人、27年は269人、28年は219人減少している。町の急激な人口減少を抑えるため、今すぐにやらなければならない政策は「日本一の子育て支援」である。

この「日本一の子育て支援」は、(ア)小中学生の給食費無償化、(イ)高校生までの医療費無償化、(ウ)待機児童ゼロを実施することである。

小中学生の給食費無償化についての考えは。

答 **教育総務課長** 給食費については、町長の公約でもあるが、対象を限定し、減免もしくは補助ができないかの検討を始めたところである。

問 AI(人工知能)の活用を考えた後期基本計画の策定をM銀行グループは、AI、AIロボットを活用して従業員を減らす予定である。

後期基本計画の策定で大切なことは、①新しい発想、②AIをどのように活用するかである。AIは、言語処理能力、判断力などに優れているので新しい発想で基本計画を策定して欲しい。

答 **企画財政課長** AIの進化は日進月歩であるから、どのような状況になるかわからないが、動向を注視していきたい。



動物と遊ぼう(小学校の生活科)



長谷川 真也 (町民クラブ)

Q ご当地ナンバープレート導入

A 平成30年度に導入の可否を判断

問 白線・通学路カラー舗装の塗り替え時期を問う。
答 **まちづくり整備課長** 一般社団法人全国道路標識・標示業協会の目視評価を参考に現地を確認し、路面表示が見えにくくなった段階で修繕している。

問 町民の方々に分かるように写真などで塗り替え時期の目安を告知しては。
答 **まちづくり整備課長** 町民の方々に分かりやすくする為に調査研究する。

問 中学校での防災教育では、自分自身を災害から守ることに加え、災害時に必要となる助け合いやボランティア精神の育成も考慮するべきでは。
答 **教育総務課長** 災害時には、中学生が推進力となって地域のために活躍するということも期待されており「地域の力になりたい」という心情は、道徳においても育成されます。助け合いやボランティア精神が育めるよう、実践的な防災教育を進

めていくよう各校に指導する。

問 来年50周年に向け、ご当地ナンバープレートの導入を問う。
答 **企画財政課長** ご当地ナンバープレートの導入については、実施方針の内容にも合致する取り組みであると考えている。ナンバープレートの1枚当たりの経費が膨らむことが見込まれることから関係課と協議の上、平成30年度に導入の可否を判断したい。



蕨市ご当地ナンバー



松岡 高志 (自民クラブ)

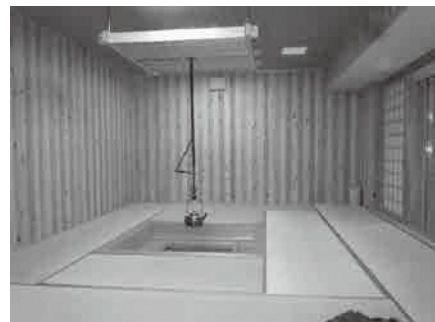
Q 全国学力テスト結果の課題解決は

A 松伏授業プランを各校に指導する

問 全国学力テスト結果の課題と学力向上策は。
答 **教育総務課長** 記述式の問題に苦手の傾向が見られた。基礎学力の確実な定着とさまざまな情報や資料をもとに、自ら考え、表現、判断する力の育成が大切だと考えている。課題の解決を図るため、家庭学習の充実と授業改善を一層図っていく。授業改善は昨年度、教育委員会で作成し、全教職員に配布した「松伏授業プラン」を活用していく。松伏授業プランの学習過程の共通理解を図り、児童生徒主体の授業が進められるよう各校に指導し、学力向上につなげていく。

問 当町の幼保小中連携一貫教育の取り組みは。
答 **教育長** 松伏町では小中一貫教育と銘打ってはやってないが、実績として内容は同じものを取り組んでいる。1つ目に小中の先生方の連携、夏休みに松伏の全教職員が一堂に会し、あるべき児童・生徒の姿の松伏スタンダードを定め、それに向かって5校で取り組んでいる。2つ目は小学校

の運動会や音楽会での小学生と中学生の交流。3つ目は先生の出前授業の実施やJプランという中学校の先生が小学校に2年間行き、自分が教えた高学年の児童を中学校では数学を教えるという中1ギャップ解消の取り組みをしている。今後も小中一貫教育の先進事例を参考に、子どもひとり一人に寄り添った教育を進めていきたいと考えている。



保小中一貫教育校「湯沢学園」の「いろいろの間」



堀越 利雄 (新自民クラブ)

Q 道の駅構想と今後の取組みは

A バスターミナル経由の道の駅検討

問 東埼玉道路の延伸が進行中の現在、町は道の駅構想をどのように考えているか。

答 **新市街地整備課長** 町には鉄道駅がないという現状ですが、新市街地区域にバス路線を延伸して、それと道の駅を一体的に設置し、地域のにぎわいや生活を楽しむ場所を東埼玉道路沿線に整備する基本構想を策定する予定。

問 道の駅構想の町長の考えは。

答 **町長** 民間バス事業者との連携による路線バスのルートをも道の駅経由に変更し、松伏町北部の足の確保と利便をはかる。また、カレーの里など特徴ある道の駅を検討している。道の駅に来て松伏町の良さを知っていただき、松伏町に住みたいとなることを期待している。

問 松伏町をさらに活気あふれる町にする文化活動の企画や施設の提供はあるか。

答 **教育文化振興課長** 元視聴覚室を使った展示を2

週間を帯として無料で行なっている。視聴覚室で手狭なときは、エントランスにパネルを設置し、来場の皆さんにアピールできる展示スペースになると考えている。



越谷市増森地内での東埼玉道路延伸工事



山崎 隆一郎 (公明党)

Q まつぶし逸品開発事業の状況は

A マカロンを平成30年3月完成

問 前立腺がんの特定検診時の同時実施を。

答 **すこやか子育て課長** 現在のところ実施予定はないが、国や県及び他市町村の動向を注視する。

問 ICタグを使い児童の見守りを強化せよ。

答 **教育総務課長** 町が主体となって実施するのは困難であると考えており、民間による町への事業参入の希望があれば、施設の利用や学校を通じて保護者へお知らせする等の協力はできるものとする。

問 QRコードを使い認知症徘徊者対策を。

答 **いきいき福祉課長** QRコードシールを活用した徘徊者対策については、認知症対策として有効な手段の一つであると認識しており、先進事例を研究し、導入を検討する。

問 まつぶし逸品開発事業の進捗状況はどうか。

答 **環境経済課長** 逸品開発委員会で開発した「マカロン」を平成30年3月に完成し、町内の各種店舗

をはじめ、町外においても商品の販路を開拓して「まつぶし逸品」を通じた情報発信による松伏町の魅力を発信していく。

問 シティプロモーション戦略策定事業の状況は。

答 **総務課長** 策定に従い、広報紙やツイッター、フェイスブックなど、既存の広報媒体とともに、新たな戦略としてインスタグラムや動画配信などを取り入れて、町の認知度の向上を図る。



まつぶし逸品のマカロン



平野 千穂 (日本共産党)

Q 乳がん検診対象者を35歳からに

A 財政負担と本人負担を伴うため慎重に進める

問 若い女性の乳がん発症数は増加している。全国3分の1の自治体で、39歳以下の乳がん検診を実施。県内は10市5町で30歳から、4町で20歳から実施している。当町でも35歳からに拡充することが、若年性がんの早期発見に重要である。

答 **すこやか子育て課長** 若い女性に有効とされる超音波検査は、現在のところ実施していないため難しく、また、年齢の拡大や検査方法を超音波に変更する等の検診は、町の財政負担と本人の自己負担を伴うため、慎重に進める必要がある。

問 日本女性の約4割を占める高濃度乳房の場合、乳腺もがんも白く写り、マンモ検診でがんが見逃される一因となっている。検診で高濃度乳房と判定された場合、病気ではないががんの見逃しリスクが高くなることを伝え、注意を促し、別の検査の案内などを通知することが重要だと考える。

答 **すこやか子育て課長** 国の判断基準が確立されていない。今年度中に指針を出すか否か検討中であり、国や県の動向を注視し、実施していく。

問 小・中学校の普通教室への早期エアコン設置について、9月議会以降の取り組みを問う。

答 **教育総務課長** 町長の最優先政策のため、調査業務を一部先行実施することで建築計画を1年早め、工事を平成31年に予定。国庫補助を受けての設置工事を想定しているため、実際の工事時期は、国の補助・町の財政の状況を踏まえて決定。



吉田 俊一 (日本共産党)

Q 国保広域化の準備で負担軽減を

A 予算編成の中で研究していく

問 第3回目試算は、国の公費投入1,200億円が反映され、1人当たり国保税必要額が大幅に減少した。これまで同様に一般会計繰入金（法定外）を実施すれば国保税値上げが必要ない水準と考えるが町の判断は。

答 **住民ほけん課長** 1人当たりの保険税必要額に来年度の予定被保険者数を乗じ、平成29年度と同程度の繰入を実施すれば、納付金をまかなうことができる。

問 第3回試算結果を分析した中で、多くの自治体ではこれまで同様の法定外繰入金を行えば、若干の余裕ができる傾向。二方式の課税にした自治体は均等割が非常に高く、子どものいる家庭の軽減を、この財源を使って検討する自治体も生まれている。町としては、どのように考えるのか。

答 **住民ほけん課長** 前年並み1億7千万円程度の繰入金が入った仮定での質問は、予算編成がされていない現時点でお答えできない。予算編成を進め

るなかで研究していきたい。

問 県に支払う納付金は、4月に20%（第3回試算）、または15%（第4回試算）を支払う方針が示された。20%では1億8千万円も町の立替払いになる。国と県も責任を果たす必要がある。

答 **住民ほけん課長** 15%も、まだ案の段階。今後の動向を注視していく。

国民健康保険広域化に伴う、1人当たり国保税必要額

広域化・試算	平成28年度	平成29年度	公費投入 反映なし 公費投入 1,200億円
第2回	136,541円	131,583円	
第3回	141,076円	112,112円	
広域化・試算	平成28年度	平成30年度	公費投入 1,500億円
第4回・秋の試算	110,433円	99,918円	

第4回目は、平成30年度予算編成のための仮算定所得水準、医療水準は直近数値を反映



鈴木 勉 (無所属クラブ)

Q ウォーキング教室、体操塾復活せよ

A ご近所さん体操を実施し復活困難

問 この間、既存介護予防事業が大幅に縮小され、特に人気のあったウォーキング関連事業やふれあい体操塾も廃止された。町は、介護予防事業を拡充していく視点が欠けている。まずは、「ウォーキング教室」や「ふれあい体操塾」を早期に復活させることが必要と考える。町の見解は。

答 いきいき福祉課長 介護予防事業推進の観点から、平成28年度から「ご近所さん体操」を実施している。現在、9団体が毎週1回、90分程度活動している。今後も専門職を活かした事業を推進していく考えで、ウォーキング関連事業やふれあい体操塾の復活は、難しいと考えている。

問 平成28年度から各種事業が軒並み廃止された。ご近所さん体操は評価をするが、プロのインストラクター指導の事業とは質が違う要素もある。多様なニーズに応じていかないと介護予防効果を狭めてしまうのではないか。

答 いきいき福祉課長 今、健康体操を中心に実施し

ているが、介護予防全体を考えたときに他の部署や民間事業者等、町全体の事業を利用していただけにしたい。

問 幅広い事業を展開しながら進化していくことが重要だ。体操塾やウォーキング事業を復活せよ。

答 町長 随時一定の見直しをしながら、介護予防に力を入れていきたい。



講師の指導で正しい姿勢と歩き方を学ぶ
(写真は町内ウォーキングサークルのレッスンの様子)

主な議案の採決

議員名	高橋	莊子	堀越	長谷川	福井	松岡	田口	増田	川上	山崎隆	平野	吉田	鈴木	
	昭男	敏一	利雄	真也	和義	高志	義博	等	力	一郎	千穂	俊一	勉	
件名	(自)	(新)	(新)	(町)	(無)	(自)	(自)	(自)	(公)	(公)	(共)	(共)	(無)	
平成29年度松伏町一般会計補正予算	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	●	●	可決
※修正動議	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	否決
平成29年度松伏町国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度松伏町公共下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度松伏町介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
介護職員の労働条件改善のため介護報酬の引き上げを求める意見書	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	否決

※修正動議：債務負担行為補正から、町立保育所保育士等派遣業務委託料の削除を求めるもの

(○=賛成、●=反対)

(会派名) 自=自民クラブ、町=町民クラブ、公=公明党、共=日本共産党、無=無所属クラブ、新=新自民クラブ



12月議会・傍聴者数

12月5日(火)	3名
12月7日(木)	8名
12月8日(金)	6名
12月11日(月)	7名
12月13日(水)	2名
合計	26名

傍聴者の声

(敬称略)

- 議会の様子をもっと町民の皆様に広めることが、傍聴してとても大切で大事なことと思う。(臼井)
- 小、中学校のエアコン設置は前倒し出来ないのか。早期設置努力を望みます。(白鳥・東城)
- たくさんの方が議会傍聴に来るといいなあと思いました。小さいお子さんをお持ちの方でも、外のモニターで観ることが出来るのを多くの方に伝えたいと思います。(武内)
- 議会だよりをいつも読みやすく、いつも楽しみにしています。(横川・臼井)

町の木・松



第44回 松伏町農業収穫祭(11月26日)
県営まつぶし緑の丘公園サークル室

町の花・菊



第48回 菊花展示会(11月3日～5日)
県営まつぶし緑の丘公園サークル室

【編集後記】高橋 昭男

新春のお喜びを申し上げます。

ちょうど、議会だよりも第100号を迎えます。

初刊は平成5年3月、今月号の発刊で25年の歳月です。

諸先輩議員の苦節と継続の力の大切さを身にしみます。

これからも初心にかえり、どなたでも読まれるような分かりやすい優しい紙面づくりを心がけてまいります。

今年は戌の年であります。一步一步進む成熟した年と、災害の無い一年、健康の一年でありますように。

- 議長 佐藤 永子
- 議会広報発行特別委員会
- 委員長 高橋 昭男
- 副委員長 長谷川 真也
- 委員 鈴木 勉
- 委員 田口 義博
- 委員 増田 等
- 委員 山崎 隆一郎
- 委員 平野 千穂